

正しく分けてまちの資源へ

皆さん1人1人の分別意識が重要です！

令和6年9月から、なんさつECOの杜の杜の供用開始に伴い、ごみの分別ルールが変わりました。市民の皆さんから「ごみの分別がわかりづらくなった」といったごみの分別方法について戸惑いの声をいただくことがあります。

適切に分別された資源ごみは、内鍋リサイクルセンターにおいて中間処理を行い売却しています。本市の貴重な財源となり、さまざまな形で、市民の皆さんの生活に役立てられています。

また、誤ったごみ出しは、収集車や処理施設の故障などにつながり余分な費用がかかるだけでなく、違反ごみとして地域の集積所に残ってしまうことで、周辺の環境や住民に悪影響を及ぼし、衛生的な生活が送れなくなってしまう可能性があります。



●なんさつECOの杜

減、環境負荷の低減、資源の再利用による天然資源の節約にもつながります。

今回の特集では、分別を間違えやすいごみの正しい出し方と市民の皆さんの協力により分別されたごみの活用方法を紹介しています。

その分別、正しいですか？

集積所に間違った分別の方法で出された違反ごみの中で特に注意が必要なものを紹介します。

火災危険物をもえないごみに混ぜないで

電池・ガス缶・スプレー缶などの発火の危険性があるものはもえないごみではなく、適切な方法で資源ごみの火災危険物として出してください。

電池・ガス缶・スプレー缶などが混入すると収集車や処理施設の火災につながります。

火災危険物

電池類(乾電池・モバイルバッテリー)、ガス缶・スプレー缶、ライター類

- ・ガス缶・スプレー缶は使い切って穴をあけてから捨てる
- ・ライター類は使い切ってから捨てる

これらの火災危険物は1つの資源ごみ袋にまとめて集積所に出してください。

※小型家電に使用されている電池類は取り外して火災危険物として出す(取り外せないものはそのまま資源ごみの小型家電として出す)。

缶類・びん類・ペットボトルは洗ってから出す

缶類・びん類・ペットボトルは中をすすいでからそれぞれ種類ごとに資源ごみ袋に入れて出してください。

フタ・キャップは取り外してください。ペットボトルはラベルも取り外してください。

食用油の容器の捨て方に注意！

食用油の容器など、水ですすいでも油分が取れないものは、再資源化できないため、プラスチック製の容器であればもえるごみ、びんであればもえないごみとして出してください。



プラスチック容器はもえるごみ



びんはもえないごみ

ごみの分別研修会を実施しています。



本市では、監理団体などからの要請に応じて、海外から本市に外国人技能実習生として来られた方を対象にさまざまな研修会を行っています。その一環として、本市のごみの分別をはじめとした、ごみ出しルールについての研修会も行っています。

9月29日、市民会館でインドネシアからの外国人技能実習生を対象に、ごみの分別についての研修会を行いました。

インドネシアから来られた皆さんにとって、ごみの分別はあまり馴染みがないとのことで、職員の説明を声に出したり、メモを取ったりしながら研修を受けていました。



▲9月29日の研修会に参加された皆さん

※靴・ゴム長靴、ホース(30cm程度に切る)や硬いプラスチック(プラマークの無い)はもえないごみから、もえるごみへとなりました。もえないごみにプラスチック製品を入れないようにしてください。プラマークのないプラスチックはもえるごみとして、プラマークのあるプラスチックは資源ごみとして出してください。

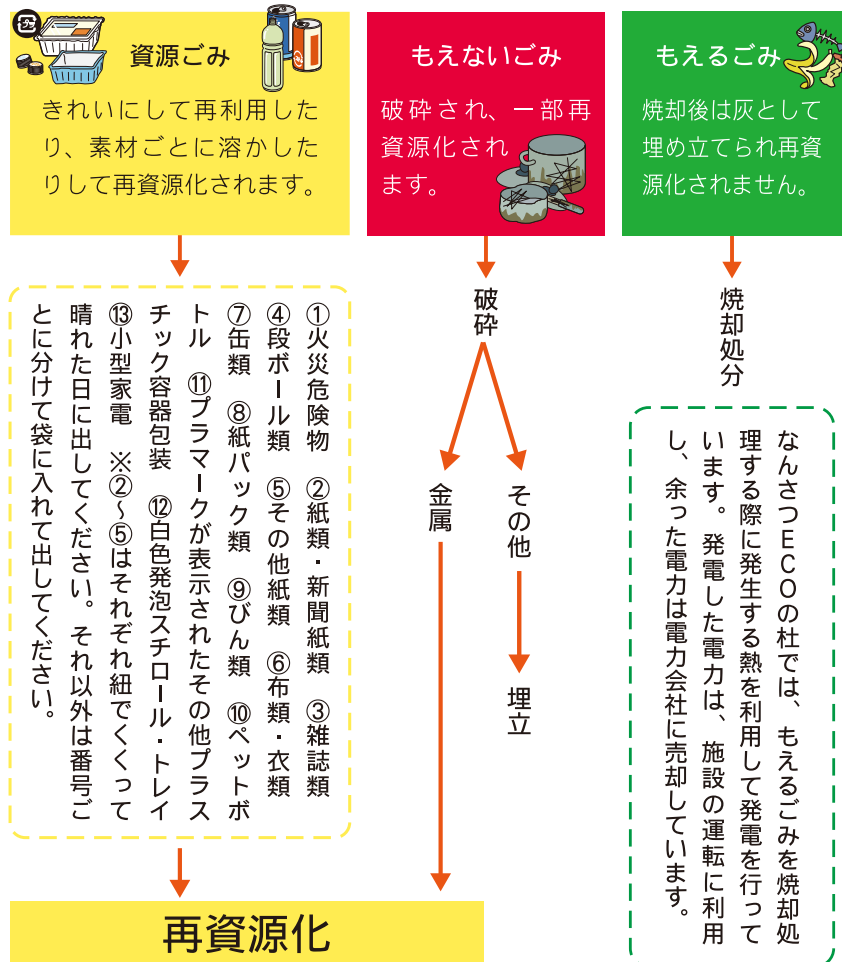
『ボトルtoボトル』水平リサイクルについて

枕崎市では、ペットボトルのリサイクルに関して、サントリーグループと協定を締結し、「ボトルtoボトル」水平リサイクルを行っています。飲用後のペットボトルを新たなペットボトルへとリサイクルするもので、温室効果ガス削減にも効果的なリサイクル方法となっています。

ごみの再資源化により令和6年9月の供用開始から

913万円が貴重な収入となっています。

市民の皆さんのご協力により適切に分別されたごみは、以下のように再資源化などされ有効に活用されています。



ごみの分別方法に迷ったら…

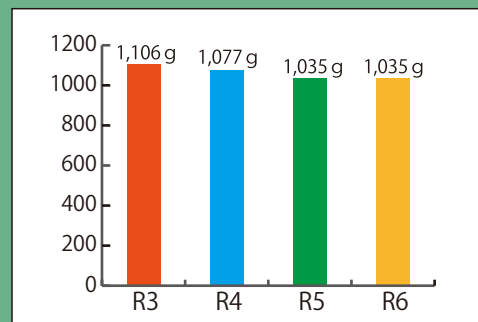
「ごみの分別の方法が分からない」「住んでいる地区の収集日が分からない」などごみに関する悩みを解決する、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を活用しましょう。ごみの分別方法の検索機能や収集日をお知らせする機能が備わっています。

また、英語とベトナム語にも対応しています。

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1097



ごみ分別アプリ
さんあ〜る



市民1人1日当たりのごみ排出量

令和6年度では、1人1日当たりのごみ排出量は1035gで減少傾向であります。令和5年度のデータでは、県内19市のうち、3番目に多いごみの量となっています。

枕崎市では、令和12年度までの目標として1人1日当たりのごみ排出量855gを目指しています。ごみ減量化を図ることで、ごみ処理費用の削減にもつながります。令和6年度のごみ処理費用は、約1億9600万円、1人当たり約1万5000円となっています。

ごみの量が多くなると、その分処理費用も多くなってしまう。ごみの分別・削減の協力をお願いします。

本市のごみ排出量と処理費用は？